



まるごとパック事業

南中(1/13)、狭山中(1/17)

南第一小(1/20)、第三中(2/3)

まとめの時期となる3学期、4校がそれぞれのテーマに沿って授業公開しました。

【南中】

○確かな学びを育む学校づくり推進校

○道徳教育推進事業校

として、「音読」や「書くこと」を大切にした授業や「考え、議論する道徳」。

【狭山中】

○スマートスクール実現モデル校

として1人1台端末を活用し、「主体的・対話的で深い学び」の実現をすすめる授業づくり。

【南第一小】

○学校目標である「やる気と笑顔いっぱいの一っ子」の具現化に向けた実践やコミュニティ・スクールとして取り組んできたこと。

【第三中】

○「ICT機器を活用した主体的・対話的で深い学びのある授業づくり」に取り組んできたこと。



全体会では、大学教授から道徳授業における「めあての明確化」について助言をいただきました。(南中)



話し合い活動では、ホワイトボードを活用するなど場面によって学習ツールを使い分けます。(狭山中)



コミュニティ・スクールの取り組みでは、地域の方々の顔の見える関係が感じられました。(南第一小)



1人1台端末を使って、自分のペースで英文を読み進めます。動きながら読むことが効果的だそうです。(第三中)

外国語(英語)教育担当者連絡会

授業公開を含めて年2回実施している連絡会、11月の南第二小学校、1月の狭山中学校、ともにALTが討議会に参加し、関西大学の竹内教授から「書く」指導の工夫や言語活動の充実に向けた授業づくりについて直接話を聞き、共有することができました。

教育委員会として、今後、就学前に行ってきた英語の学びをどのように小学校低学年につなぐのか、また義務教育修了時の目標であるCEFR A1レベル(英検3級)相当以上の修得のためにはどのような取組みが効果的であるのかを考える機会となりました。



部活動地域移行に向けて

令和5年度から令和7年度の改革推進期間の前に、生徒・保護者・教職員にアンケートを実施するとともに、地域のスポーツや文化芸術に関わりのある方々を対象に、現時点での本市の考えを説明するなど、移行に向けた準備を進めています。

アンケートからは「専門家と一緒にするのはメリットがある。」や「休日だけではなく、一斉に移行して欲しい。」、また「地域のかたと一緒に活動するのはいいこと。」などの意見がありました。

また、説明会では、「先生たちの負担軽減は理解できるが、子どもたちの気持ちを大切にしたい。」や「新しいクラブを立ち上げてもいいのか。」など様々なお意見を頂戴しました。

今後も先進地の情報を集めるなど、地域移行に向けた準備を着実に進めていきます。



来年度も
よろしく
お願いします。